



ウェルカムパーティーに臨むコンケン大学の学生たち。本学関係者とジュースで乾杯

歓迎パーティーで交歓...友情深める 2 週間に

本学との交換研修のために来熊したタイのコンケン大学の学生ら7人のウェルカムパーティーが3日（火）、1204・1205会議室であり、サンドイッチなどの軽食を囲んで両大学の学生、職員らが交歓しました。

一行は2日（月）に熊本入り。パーティーでは、コンケン大生らが本学の学生、教職員に拍手で迎えられながら入場し、「こんにちは、よろしくお願いします」などと一人一人が自己紹介。竹屋元裕学長が「2週間の研修期間中、KMバイオロジクスや病院の見学、授業参加もあるが、熊本の観光も楽しんで、友情も深めてほしい」と歓迎の言葉を述べました。その後みんな飲み物を片手に「乾杯」。

最初は遠慮がちに料理に手を伸ばしていたコンケン大の学生も、本学の学生たちから「学科は何?」「熊本でどんな観光をしたい?」などと英語で話しかけられると、すっかり打ち解けた様子。お互いわからない言葉が出てくると、ボディランゲージも飛び出し、会場は温かい雰囲気になっていました。

一行は16日（日）までの期間中、病院や企業見学、本学授業への参加、文化交流など多彩なプログラムを体験しています。9日（月）にはキャンパステラスで、引率するサウイトリ・ワンペン講師による講演会も予定されています。（NL編集部）



料理をほおばりながら談笑する両大学の学生たち

力合わせMANGAづくり

研修生、「基礎セミナー」に参加

コンケン大学の交換研修生6人が4日、キャンパステラスで行われた基礎セミナー「MANGAを通して世界と日本を知ろう!」に参加し、本学学生13人と交流しました。

本セミナーでは、共通教育センターの田中恵理准教授が担当し、なぜ日本のマンガが世界中で人気なのかを探求しています。この日は、全体で簡単な自己紹介をした後、グループごとに趣味や好きなマンガなどを英語で紹介。さらに、本学の学生たちが、作成中のマンガのエピソードを説明しました。



自己紹介を兼ね、好きな漫画のことなどを語り合う学生たち

引き続き、互いにキャラクター名やストーリー案を出し合いながらのオリジナルのマンガを作成。わからない言葉が出たときは、スマートフォンで意味を調べたり、感想を求めたりするなど、積極的にコミュニケーションを取っていました。

（NL編集部）

本年度の学友会会長に井川陽仁さん（リハビリテーション学科理学療法学専攻3年）が就任してまもなく1カ月。「最初は不安だった」と語る井川さんに話を聞きました。（NL編集部）

仲良く楽しい活動を／駅清掃への参加促す

—会長に任命された時、何を思った？

井川：正直、「具体的に何をすればいいんだろう」と不安を感じていました。でも「先輩後輩の壁をなくすくらい、仲のいい学友会にしたい」という目標を決めて、今はとにかく仲良くまとまった学友会にできるように頑張っているところです。シーズンイベントや杏祭など大変な時期もありますが、仲の良さを生かして楽しみながら一緒に乗り越えていけるようにみんなを引っ張っていきます。

—どうして会長職を引き受けようと思ったのですか？

井川：自分の中でこれまで「頑張った」と胸を張って言えることがあまりなくて…。そんな自分を変えたきっかけが、地元の水俣市で行われた「成人式・二十歳のつどい」の実行委員長になったことでした。十数人の実行委員で小中学校の担任の先生方のビデオメッセージを作ったり、式典の運営、進行を担ったり…。その時の経験が学友会の会長にもつながっています。みんなをまとめること、束ねることに生かせると思うので、この1年をしっかりと頑張りたいと思っています。

—1年間の任期の中で、特に力をいれたいことは？

井川：毎月第4土曜に行っている西里駅の清掃活動です。毎年4、5月は物珍しさから新入生の参加が多いのですが、そこをピークに減ってきて、10人以下という月もあります。熊保大がある西里は、自然豊かで温かい人が多い場所。せっかくこの場所で学んでいるからこそ、地域と連携して地域の皆さんから好かれる大学にしていきたいと思っています。そのためにも、多くの学生たちが参加してくれるように呼び掛けていくつもりです。

「『二十歳のつどい』実行委員長の経験が自分を変えた」と話す井川さん



異なる文化や言語…貴重な経験に

図書館主催の「私の部屋でランチを」が5月27日（火）、キャンパステラスで開催され、今春、アメリカに短期留学した学生の中から12人が「アメリカ短期留学報告会～4週間で見つけた世界と自分～」と題して講演しました。

学生たちは3グループに分かれ、「アメリカと日本の違い」「観光地や食べ物」「ELSセンターでの活動」のテーマに分かれて発表しました。留学したことで、学生たちは時差や人種の多様性、サマータイムなど多くの経験を積みました。日本とは違う文化や言語に触れ、初めは不安を感じていたものの、相手の文化を尊重することによって楽しさに替えられたといいます。

ハンバーガーやピザなど食べ物の大きさに戸惑いながらも、日がたつにつれ胃が大きくなったのか、「残さず食べられるようになった」という報告には、会場から笑いが起きて

いました。発表後の質疑応答で、演壇に立った学生たちは教職員からの質問に堂々と答えていました。（NL編集部）



ELSでの学びについて発表する学生たち

アメリカ短期留学報告会

（4週間で見つけた世界と自分）



本学リハビリテーション学科作業療法学専攻はこのほど、作業療法士の国際的な専門職団体である世界作業療法士連盟（WFOT）の承認校として継続認定を受けました。この認定は作業療法士の国際的な教育水準を満たしていると認められた学校のみにも与えられるものです。

認定により、本学を卒業して作業療法士免許を取得すれば、引き続き作業療法士として海外でも活躍することができます。作業療法学専攻はこれからも質の高い教育を行っていきます。（作業療法学専攻長 山野克明）＝写真は世界作業療法士連盟（WFOT）から届いた認定証

健康・スポーツ
教育研究センター

レポート

3年目迎えた「阿蘇プロジェクト」

本番控え高校生と事前練習会

本学と阿蘇市、阿蘇中央高校との包括連携協定に基づくヘルスプロモーション活動「阿蘇プロジェクト」に向けた事前練習会を5月27日（火）、本学アリーナで実施しました。

同プロジェクトは、阿蘇市在住の高齢者の健康寿命を延伸させることを目的として2023年度から行っている事業です。本学の教員、学生と阿蘇中央高校の高校生が主体となり、毎年6月と11月の2回、65歳以上の高齢者の体力などを測定し、その維持や改善を促す活動を行っています。本年度の第1回測定会は6月10日（火）、阿蘇中央高校で開催します。

事前練習会には、阿蘇市職員2人、阿蘇中央高校2年生48人が参加。本学リハビリテーション学科の2年生51人とともに検査手技の指導を受けました。また、健康・スポーツ教育研究センターの荒木栄一センター長が健康寿命を延伸させること

の意義について説明。松原慶吾准教授（言語聴覚学専攻）は「3回目となる今年度は、参加者の運動習慣の定着を目指し、予防活動のレクチャーや予防活動の記録に力を入れます」と解説しました。（健康・スポーツ教育研究センター 中村祐貴）



事前練習会で検査の手順などを確認する学生、生徒たち



就職・実習支援課

藤丸 勇さん



久住山山頂で筆者
(2024年5月)

マイブームで充実の日々

現在、私のマイブームは「登山」「バイクツーリング」「キャリアコンサルティング技能2級試験への挑戦」です。どれも異なる魅力を持ちながら、私の生活を充実させてくれています。

登山では、久住連山の美しい景色と爽やかな空気を楽しみながら、自然の中でリフレッシュしています。バイクツーリングでは、阿蘇周辺や長崎、宮崎などを巡り、風を感じながら自由な旅を満喫しています。

一方、多彩な職務経験を活かし社会貢献と仕事のスキルアップのために、夜間にWeb講座を受講しながらキャリアコンサルティング技能2級試験に挑戦中です。学ぶことの奥深さを実感しつつ、自己成長の喜びを感じています。自然と向き合いながらリフレッシュし、バイクで旅を楽しみ、学びで自己成長を図る—これらが私の充実した日々を支えてくれています。

登山やツーリングでリフレッシュしながら勉強に励むことで、心身のバランスを保ち、充実した日々を過ごしています。これからも、このライフスタイルを楽しみながら、目標達成に向けて頑張りたいと思います。

■生成AI利活用の留意点など学ぶ

令和7年度の利益相反に関する研修会が2日（月）、1300講義室Lで開催され、本学の顧問弁護士を務める桜樹法律事務所の馬場啓弁護士が講演しました。

馬場弁護士は、大学における利益相反について本学のマネジメント規程を交えながら解説し、「利益相反に該当するかわからない場合は学内の利益相反アドバイザーに相談を」と呼び掛けました。

講演の後半では教員や職員、学生それぞれの立場での生成AIを利活用する場面を踏まえたうえで、留意すべき点について具体例を挙げながら説明。研修会の最後には、質問への回答時間も設けられ、参加した教職員たちはスライドを真剣に見つめて理解を深めていました。（NL編集部）



令和7年度利益相反に関する研修会の会場



今週の1枚

スッキリと化粧直し

皆さんお気づきですか？実は、2号館前の看板がきれいに塗り替えられました。これまでに比べて背景の黒が鮮明になり、大学名がはっきりと見えます。化粧直しして、なんだかたくましく見えます。これからも学生や教職員たちを立派に迎えてくれることでしょう。（NL編集部）

インフォメーション

週間行事予定（6月9日～6月16日）	
6/10（火）	阿蘇プロジェクト 第1回体力測定会
6/13（金）	コンケン大学交換研修生 さよならパーティー
6/13（金）	木下理事長 記念講演会
6/14（土）	令和7年度熊本県感染管理ネットワーク学術講演会・研修会
6/16（月）	進路指導者説明会